

第17回 札幌市河川環境推進会議

日時：令和8年2月2日（月）13:30～16:30

場所：札幌市下水道河川局庁舎1階 大会議室B

会議次第

1 開会の挨拶

- 1) 河川担当部長挨拶
- 2) 委員・事務局紹介
- 3) 会議概要のおさらい
- 4) 座長・職務代理者の選出

2 議事

- 1) 第5期会議の振り返り・ご意見と対応
- 2) 情報発信・普及啓発事業
- 3) 河川環境整備事業

3 総括

4 閉会の挨拶

概要は以下のとおり。

● 事務局からの報告

○ 議事1 第5期会議の振り返り・ご意見と対応

第5期会議（令和4～6年度）において各委員からいただいたご意見を受け、札幌市が各事業に反映してきた内容について、振り返り報告。

- 河川事業パネル展（動画の活用、パネルのリニューアル）
- 川の学習パネル展（参加児童へのフィードバック）
- 川めぐりウォーキングツアー（落選者へのフィードバック）
- 上追分川（環境整備、治水整備）

○ 議事2 情報発信・普及啓発事業

令和7年度に実施した事業の中から特に実施内容を改善・更新した事業と、令和8年度以降に新規立ち上げ予定の事業について、ピックアップして報告。

- コラム「川のすがた」（Instagramの新規開設、特集テーマの検討）
- 出前講座（講座テーマのリニューアル）
- 鴨々川いきもの観察会（民間との連携強化）
- 川めぐりマップ（創成川・鴨々川マップのリニューアル、サクシュ琴似川マップの新規発行）
- 川めぐりウォーキングツアー（サクシュ琴似川ツアーの新規立ち上げ）

○ 議事3 河川環境整備事業

令和7年度の調査実績や今後の検討状況、その他情報提供事項について報告。

- 大曲川（魚道整備検討）
- 盤溪川（盤溪小学校とのワークショップ）
- 情報提供（外来種：ウチダザリガニ）

● 当日の様子



● 委員からの代表的な意見

○ 議事1 第5期会議の振り返り・ご意見と対応

■ 川の学習パネル展（参加児童へのフィードバック）

参加児童のモチベーション向上に向けたアイデア出し

- ・パネル展会場に児童を呼び、学習作品の発表会を開催する。コメンテーターとして河川や生物の専門家を呼び、その場でコメントをもらってフィードバックする。
- ・学会発表におけるポスターセッションのように、児童たちが学習作品の横に待機する時間帯を設け、来場者に対し直接自由に説明できる場を設ける。
- ・「頑張ったで賞」などの賞をつける。

■ 川めぐりウォーキングツアー（落選者へのフィードバック）

落選者への対応についてアイデア出し

- ・事前にツアーガイドにウォーキングコースを回ってもらい、その様子を撮影する。ホームページやYouTubeに動画やガイド音声を掲載し、自由に閲覧可能にする。
- ・恣意的にはなるが、何度も参加している人は抽選対象から除外する。
- ・民間企業のガイドを活用し、新規ツアーを立ち上げ開催回数を増やす。

■ 上追分川（環境整備、治水整備）

地域住民との意見交換について。実際に川の中に入って現地を見てもらった上で意見交換を行うことで、よりよい結果が期待できる。整備後においても、環境改善への理解が深まることが期待できる。

○ 議事2 情報発信・普及啓発事業

■ コラム「川のすがた」（Instagramの新規開設、特集テーマの検討）

閲覧数増加に向けたアイデア出しとそれに伴う懸念事項

- ・小河川への定点カメラ設置による川の変化を紹介
- ・川の生物の営みと気候変動を関連付けたストーリー仕立ての特集
- ・川の神秘性にフォーカスして源流部の紹介
- ・音声をつけたり職員が顔出しするような動画投稿
- ・魚類の生息地紹介にも繋がることから、釣り人による魚類乱獲への懸念

■ 川めぐりウォーキングツアー（サクシュ琴似川ツアーの新規立ち上げ）

現状依頼しているガイド講師に依存するのではなく、新たなガイド講師についても検討すべき。民間企業やフットパス関係のNPO団体に協力を仰いだり、専門家ではなくとも事前に座学講習を実施し新人ガイドを育成していくという考え方も大切。

○ 議事3 河川環境整備事業

■ 大曲川（魚道整備検討）

落差工に魚道を整備すると、サクラマスの遡上数増加が見込まれるが、砂地河床を産卵に適した礫河床に改良するなど、落差工より上流部における産卵適地のさらなる創出を検討すべき。

■ 盤溪川（盤溪小学校とのワークショップ）

■ 情報提供（外来種：ウチダザリガニ）

小学校へのワークショップ内で、外来種について教育することも大切。「このような外来種がいて、もし見つけても他の場所に移動させない」「外来種は、人の手で移動されて生息域が拡大することが多い」という説明が望ましい。